



# 鹿児島県 児童クラブ連絡協議会

連絡先

〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久2105-1

TEL/FAX 0995-45-7800

http://m-jidouclub.com/krijidouren-index.htm



携帯サイトです。ブックマークに登録を！

## ニュース

No. 45

2016年1月5日



## 人が人として豊かに 生きることのできる未来を

この国は、「戦争をする国」への道、「貧困と格差社会」の深刻化…子どもの相対的貧困率16.3%、個人情報管理される危険のあるマイナンバー社会へと突き進みつつあります。

さらに、世界各地で起こっている「テロ」や紛争などでは多数の市民が被害に遭っています。「平和」ということを今一度考えてみる時です。

いま、私たちにできること、それは平和への希求と実現！…雨宮処凛さん著の『右翼と左翼はどちらが？』書評に著者自身のメッセージ〈自分の生きづらさや世界中にある矛盾を、社会全体の問題としてとらえた時、あなたの世界を見る目は変わると思う〉そして「左翼の専売特許」だったデモが2011年3月以降は普通の人々の〈自分たちが意思表示するための重要なツールとなった〉と紹介されていました。

厚生労働省の発表によると子どもの相対的貧困率は、16.3%、6人に1人、非正規労働者の割合は38%、年収200万以下の勤労者は1200万人を超えると報告されています。

子どもたちは個性豊かな存在です。そんな彼らの心を遊びとコミュニケーションで耕し、成長へと導き、人として豊かに生きることのできる未来を創造する…学童保育はそのための“居場所”なのです。

子育て世代や若者が声を上げ主張(意思表示)することが必要です。

2016年、**干支は申(サル)「木から落ちた猿」**(頼りにするものがなくなって途方に暮れた状態のたとえ。)とならないために、「いろいろな人達が支えあいつなかりを育てていく」共生協同社会を、対抗社会・対抗文化としてつくる“いのちを守る社会運動”で、混乱がつづき、生きづらい社会を変える希望の年、2016年にしましょう。

今年もよろしくお願いいたします。

## 2015年秋7ブロック別指導員研修会に123名！ 指導員歴38年の片センが、熱く語る

11月22日の研修会では、埼玉面の見沼小学児童保育どんくろクラブ第二で学童保育指導員として38年の経験をお持ちの片山恵子さんに、「指導員の専門性を磨くために～認定資格研修会を控えて～」と題して講演をしていただきました。

いよいよ全国的に始まった、認定資格研修。私たちはどんな心構えで研修を受け、専門性を磨くとはどういうことか？ということ片山先生の実践報告を通じて学ぶことができました。

### <働く親の願い> 私たち指導員に託されているものとは？

- わが子がいけないことをしたときには、きちんと叱ってほしい
- わが子の様子が変わると思うときには、具合を見てほしい
- わが子がうれしいことがあったときには、一緒に喜んでほしい
- わが子がさびしそうにしているときには、気遣ってほしい
- わが子に何かあったときには、そばに寄り添って適切な手だてをとってほしい

このあたり前の願いを大切にするため、私たち指導員は常に自分の仕事を振り返り、検証し高めていくこと、すなわち専門性を磨くことが求められている。(研修会レジメより一部抜粋)

11月23日の研修会は、麦の芽福祉会常任理事の福元巧さんの「『気になる子ども』へのかかわり方」と霧島市青葉児童クラブの指導員田間美沙緒さんの『指導員の仕事』実践報告を交えての研修会でした。

福元さんから、発達障害の子の特性・発達障害児と集団づくり・どの子も育つ集団の作り方など、子どもたちの力を借りて解決の方法を考えていくことの大切さを学びました。

田間さんから、「叱る」ことをキーワードに子どもとの関わり指導員同士の情報共有の大切さについて、自らの日々の実践記録を通じてお話しをしていただきました。

(研修会参加者のアンケートは次ページに掲載しています)



## 2015年度 研修会&九州 指導員学校のご案内

## 3月13日(日) 新年度を控えての指導員・学童保育研修会 5月29日(日) 第41回学童保育指導員学校・九州会場

### ■第41回学童保育指導員学校・九州会場

○日時 2016年5月29日(日) 10:30~16:30

○会場 福岡県春日市・クローバープラザ

講師 宮里六郎先生(熊本学園大学) 予定



今回から、開催時期が5月になりました。これまで通り、参加申込みは、鹿児島県連協を通じての申込みとなります。

### ■県主催「放課後子どもプラン推進研修会」

○日時 2016年1月20日(水) 13:15~15:00

○会場 市町村自治会館 4階大ホール

講師 真田 祐さん(元全国学童保育連絡会事務局次長)

### 第9回鹿児島県児童クラブ連絡協議会

### 新年度を控えての指導員&学童保育研修会の開催

#### 1. 開催要領

- (1) と き 2016年(平成28)年3月13日(日)  
10:30受付 11:00~16:00  
ところ 鹿児島市「鹿児島県青少年会館大ホール」(県庁前向かい)
- (2) 受講料 800円(資料代)\*加盟クラブは、500円

#### 2. 研修会日程

- (1) 基調講演 11:00~12:30  
「子どもの発達と心理(幼児期・学童期)  
—保育・教育に活かすカウンセリング技法の理論と実践について—」  
講師: 熊谷 良子さん(カウンセラー/メンタルケア心理士/保育士)
- (2) 分科会 13:30~16:00
- i) 基礎講座 指導員の仕事と役割(毎日、年間の生活をどうつくるか)
  - ii) 実践講座 通信・クラブだより~日々の記録を基礎に
  - iii) 理論講座 子どもの成長・発達とは  
—保育・教育に活かすカウンセリング技法の理論と実践(ワークショップ) 講師 熊谷 良子さん

② 2015年11月22日鹿児島県児童クラブ連絡協議会ブロック別指導員研修会  
「指導員の専門性を磨くために」片山恵子さん講演会アンケートより抜粋  
〈霧島地区・北薩地区〉

・市町村名 薩摩川内市 (29) 霧島市 (45) 日置市 (1) 始良市 (2) 伊佐市 (1) 出水市 (3)  
いちき串木野市 (5) さつま町 (3) 奄美市 (1) ・初めて参加した (30)  
・指導員 (88) 保護者 (0) 設置者 (2) その他 (1) ・参加したことがある (57)

■研修講座（片山恵子さんの講演）  
は、いかがでしたか？

- ・子どものトラブルを深く深く考え、見落とさず、受けとめ子どもの成長に関わっていく尊い職業だと改めて確信した。
- ・実際に支援員として学童保育の現場にたずさわっていらっしゃる方はズン！と心に響き、伝わってくるものが違う！と感じました。
- ・支援員としての質の向上、職員の連携の大切さをひしひしと感じました。
- ・38年も勤めていらっしゃる方でも悩みや大変だと思うことは一緒なのだと知ることができました。
- ・子どもたち、保護者の方々との信頼関係は、やはりとても大事なのだと改めて考えさせられました。
- ・「ああ〜こういうふう子どもと接したらいいの〜」と感じることがたくさんありました。
- ・いろんな困難に対して指導員同士（チーム）で乗り越えていくことが大事と再確認しました。
- ・実践に基づいた研修でとてもわかりやすかった。「ある！ある！」と何度うなずいたことか・・・。
- ・まだ、この仕事を始めて2ヶ月ですが、このお話を聞いて、これからがんばっていこうと思うことができました。
- ・私も片山先生のような指導員になりたいです！
- ・保護者の方々が安心して子どもを預けてもらえるような環境作りを一番に、学童での仕事内容を理解してもらえて、なおかつ、よりよく改善されていくように私たち自身が頑張らないといけないなと思いました。
- ・これでいいのだろうかとか疑問に思いつつもやれていることが事例の中でたくさん出てきて、安心したり、見習ったりすることがたくさんある実のある研修会となりました。
- ・実践記録の大切さ。昨年までは40名前後、今年は60名をかかえての日々です。日ごろから指導員同士子どもと深くかかわれない自分達にストレスをかかえている毎日です。

- ・言葉かけの仕方などとても学ぶものがあった。
- ・指導員の気持ちもわかっていただきながら、子どもへの向き合い方、教えて頂き本当にありがとうございます。毎日の様子、自分たちのクラブ内の事も思い出して、笑ってしまう所もありました。

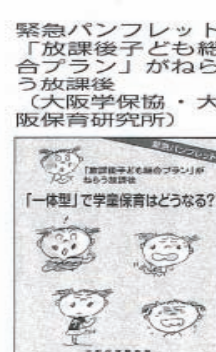
■今回の研修講座で印象に残ったことは、どんなことですか？

- ・実践記録を書いていく事が大事。
- ・感情のままに仕事をしない。
- ・瞬時に対応する判断力を実践を通して養わないといけないと思う。
- ・子どもが好きというだけでこの仕事につきましたが、今は専門的な色々な勉強が必要だと思いました。
- ・同僚指導員たちの連携、チームワーク、実践記録の大事さがわかりました。
- ・感情的にならず、これからも色々頑張っていこうと思います。
- ・実践記録の大事さを実感した。勤務時間中に書く時間があまりないので、ついおろそかになっている。
- ・指導員同士の交流で専門性を磨く事や、子どもの理解を深めるために事例検討など。
- ・感情的になる事も多々ある。しかし、それも大事だということ。そして、それを指導につなげていく事。
- ・子どもたちの良い所、場面でなくトラブル・問題に近い事を保護者に見てもらう事で信頼関係をより深められるのではないかなと思いました。
- ・指導員は冷静でいないといけないと思っていたのだが、やっぱりお互い感情をぶつけあう事も大事なんだと思いました。
- ・「辞めないで頑張りましょう」と最後の一言に・・・。まだまだ子どもたちと向き合って元気に頑張っていこうと思いました。
- ・事例検討を重ねることにより、より多く子ども理解を深めることができることを痛感した。
- ・事実をキチンと伝えるのも大事だが決して否定しない。希望をつなぐ伝え方が大事だと思いました。
- ・実践記録の大事さを実感しました。

- ・我が子の事を思わない親はいない、心配してなかったら学童保育を利用していない、そんな保護者の思いを指導員の私たちはみているのかなあ、と思いました。
- ・子どもをよく見る事、子どもに寄り添っていく事。
- ・子どもや保護者の心に寄り添い、働く保護者の働き方や子育て、生活を支えていく事、それを全うするために常に学び続ける姿勢を持っていきたいです。
- ・私も実践記録をつけていきたいと思います。
- ・学童保育の仕事をしていて、やりがいが見いだせない状態でしたが先生の話聞いていて、もう一度学童について考えていこうと思いました。
- ・自分の身の回りでも、学童クラブって？と、どのような場所か知らない方もいます。そのような方に知ってもらえる機会が増えていけば良いなと思いました。
- ・記録をとることの大切さ。「確信につながる」という言葉が残りました。
- ・実践記録を残す。
- ・どんな悪さをする子にもちゃんと向き合えば答えてくれるということ。
- ・自分を子どもたちが育ててくれていることを考えさせられました。
- ・子どもを預かることで、その家庭の生活も守っていること。
- ・仲間との連携の大切さ、保護者とのつながりの重要性を深く感じました。お便りの書き方に感動しました。
- ・子どもたち、保護者の方々との信頼関係は、やはりとても大事なのだと改めて考えさせられました。
- ・私も指導員になり、まだまだ経験が浅いので、片山先生のような子どもの気持ちになって関わることのできる指導員になりたいです。
- ・いろんな困難な事態にも、指導員一丸となってとりくんでおられること。片山先生の指導員仲間に対する声かけが良かった。
- ・大集団のデメリットを改めて知ることができた。
- ・「通信」の書き方にもいろいろあるのだと感じました。



大阪発学童保育の宝もの  
お求め・問い合わせは、「大阪学協」へ  
TEL 06-6763-4381





2015年11月23日鹿児島県児童クラブ連絡協議会ブロック別指導員研修会  
「気になる子どもへのかかわり方」 福元 巧さん講演会  
「指導員の仕事とは何か？」 田間美沙緒さん講演会

＜南薩地区＞

アンケートより抜粋

- ・市町村名 南さつま市 (8) 南九州市 (2) 伊佐市 (1) 指宿市 (2)
- ・指導員 (11) 保護者 (0) 設置者 (2)
- ・初めて参加した (3) 参加したことがある (9)

■今後、どんな研修会に参加してみたいですか？

- ・子どもたちの学童での生活でシンプルなルールや目標など各学童でどのようなことを掲げて運営されているか共有できるような研修。
- ・発達障害児への対応
- ・児童心理
- ・学習障害児への対応（学習面・宿題へのとりくみ等）
- ・子どもたち同士のトラブルへの対応
- ・子どもが楽しめる遊びについて
- ・一日の流れ（夏休み等も含めて）保育参観の研究研修があったらと思います。
- ・今回のような実例をもとにした講習
- ・質疑・応答とかあったらよかったです。霧島市1.65㎡で定員が増え、来年行き届くか不安。
- ・発達障害の研修会
- ・実体験の話を紹介する講話の会。
- ・日誌など検討会とか。
- ・他の学童の指導員さんのお話を聞いてみたい。
- ・今日の研修を奄美の指導員に伝えます。
- ・小さなグループでの討議もしてほしいです。
- ・色々なゲーム遊び、レクレーションなどの研修を受けたいです。
- ・年間行事計画や一日の流れの見直し、予算などについて学びたいです。
- ・記録の書き方や障害のある子との関わり方について学んでみたいです。
- ・実践に基づく研修。
- ・他の学童を見学してみたいです。



■研修講座（福元巧さん・田間美沙緒さんの講演）は、いかがでしたか？

- ・子どもの心に寄り添った見守り、指導を心がけていきたいと思っています。発達障害の子どもたちのことがよくわかりました。
- ・実践をまじえて分かりやすく説明いただきありがとうございました。
- ・（福元先生）学童の中に気になる子はいるのですが、私の2番目の子どももADHD・自閉症スペクトラムをたて2で変わった様な感じと言われ不安でしたが、この話を聞いてとても安心しました。ありがとうございました。
- ・（田間先生）上手な叱り方、とても参考になりました。自分のしていることに間違いなかったなと思いました。
- ・身のまわりにある話でわかりやすかったです。
- ・障害を持った子どもも、ない子どもも、ひとりの子どもとしてみることは大事であるとよくわかった。同時に子どもも大人もひとりの人間であると思って、まわりの人々と接していかなければいけないと思うことでした。
- ・指導員の情報の共有は大切な事だと思います。
- ・自閉症スペクトラムの子どもが多いので、とても役立ちました。“叱る”がテーマの講演、参考になりました。
- ・子どもの関わり方、トラブルがあった場合しっかり話を聞く、その後の様子を見ながらの声かけ、指導員の声かけにめりはりをつけてなど勉強になりました。
- ・福元先生の「子どもたちとの関わり方」とても参考になりました。田間先生の学童での事例のお話よくわかりました。
- ・ADHDについては特に勉強になりました。

- ・現在の自分の学童に対する考えを改める点、再確認させられた点など多くの収穫があった。

■今回の研修講座で印象に残ったことは、どんなことですか？

- ・なかなか指導員の先生と交流できる機会がないのでとても良い時間でした。
- ・（福元先生）困った子は困っている子。YOUメッセージではなくIメッセージで伝える。
- ・（田間先生）子どもとの信頼関係（ほめてあげる、認めてあげる）ダメはダメでしっかり伝える。
- ・あなたメッセージより私メッセージが間をおくことで人の受け取り方、感じ方がソフトになることに改めて自覚させられました。
- ・叱り方がいかに大事だということが分かりました。改めて事例の話し合いは必要だと思いました。
- ・初めての研修ですごく勉強になりました。
- ・少人数で講演というより直接先生からのお話を聞いた感じで良かったです。
- ・叱り方についての考え等
- ・指導員同士の連携や情報の共有をしっかりとした方が子どものため、子どもの教育になると勉強になりました。

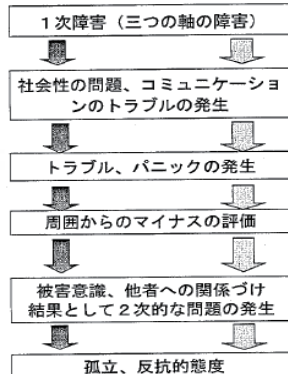
■今後、どんな研修会に参加してみたいですか？

- ・指針等の研修もしたいと思います。
- ・ワークショップやグループ討議があってもいいのでは
- ・学童の現場にいる方の言葉はとても参考になるので、又、同じような形でも良いです。
- ・制度について
- ・遊び（伝承遊び等）

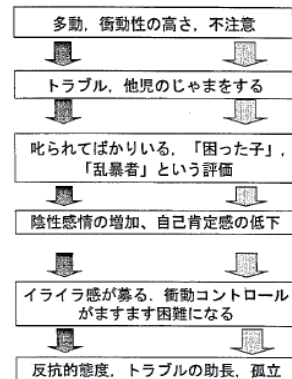


資料：発達障害にありがちな悪循環

自閉症スペクトラムの場合



AD/HDの場合



## 2015年11月7日-8日 第50回全国学童保育研究集会in大阪

「子どもたちの笑顔を守っていききたい！」会場がひとつになった 5557人が集う

分科会に  
参加して宝満志保(霧島市/国分北児童クラブ指導員)  
第13分科会②

テーマ＜指導員の仕事の確立と研修活動＞

石川県の指導員から「連絡協議会指導員委員会における研修活動」というタイトルで事例発表がありました。その中で強調されたのは、子どもの行動に対して実践してことを記録してふりかえる、そしてまた実践しふりかえる、その記録を指導員みんなで検討し共有していくことの大切さ、でした。

それが指導員としての実践力の向上・専門性の向上につながっていくということでした。実践の記録が重要な指導員の仕事のひとつだということを改めて実感しました。

全国から集まった指導員からは、1、2年目の指導員に対しての新人研修や主任クラスの指導員へのリーダー研修の必要性なども多く聞かれました。地域によって運営形態が違っているので、研修を行政が企画するところや市連協が行うところなど様々、内容や回数も充実しているところやこれからというところ様々です。

それでも国から資格を与えられた今だからこそ、研修を積み学童保育の指導員としての専門性を高めていこうという思いは、みんなの共有するところでした。

2、3年で入れ替わりが多いなか、30年指導員を続けてこられたある先生が、どうしてこれまで続けてられたのかと問われたとき、「それは働きながらずっと研修で学び続けてこられたからです。」と答えられた言葉が強く印象に残りました。

全国研に  
参加して

全国研に参加して

木佐貫里美(鹿屋市/寿学童育成クラブ指導員)

大阪で開催された全国学童保育集会に参加した。今回で三回目ですが、毎回参加者の多さに驚きです。

横浜市立大学・中西新太郎先生の『人が人のなかで生きていくこと』では、子どもたちが安心して過ごすためのケア、子どもと真剣に向き合って、「いつでもそばにいるから大丈夫」と声かけのケア、それができる学童とは、子どもと大人(指導員)と一緒に集まる場所で、大人が作る社会で成長して、つながりや人間として関わりあえる土台を作る場所である、など話されました。

福山市立大学・田丸敏高先生の『子どもの発達と学力』では、「発達も学力も個人差があるので、学習を通じて自信が持てるような成長を見守り、気持ちを受け止めてあげる。他の人と関わることで人間にふさわしい環境を作り出す。子どもにとって、都合のいい場所を作ってあげることも大切である。」など、二日間で多くのことを学んだ研修でした。

分科会に  
参加して上野かおる(霧島市/青葉児童クラブ指導員)  
基礎講座3指導員の仕事と役割

～指導員の仕事の基本を学ぶ～

指導員の仕事とは、子どもたちが安心して生活できる場を作ることです。その上で大切なのは、子どもたちが何を思い求めているのかを察しなければならぬ、そしていつでも受けとめることができることである。

暴力をふるう子が単にふざけているのか、何か思いをかかえているのか、時間をかけて知るようにする。そして、その後、どのような変化があったかなど、必ず実名で日誌に記録し、指導員全員で共有することも大事なことです。

保護者へ伝えるときは、緊急なら面談か電話で直接伝える。それ以外なら、連絡帳を使う。

他の家庭でも知っていてほしい内容なら、通信も活用してほしい。

受講者には男性指導員も多く、男性ならではの問題点として、女子児童への対応についての質問が多くありました。具体的な例をあげながら疑わしい行動をさけることが大切とのことでした。

学童が子どもたちにとって、とても大切でとても必要な場所であることを再確認できた研修会でした。

情報

全国連協から 2015年12月18日付で、  
厚生労働省が発表

◆同省の行った2015(平成27年)放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の実施状況(5月1日現在)の結果が発表されています。

→ くわしくは、こちらへアクセスを

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000107366.html>

◆平成27年度厚生労働省補正予算(案)の概要を発表  
○放課後児童クラブにおける勤務環境の改善 7.9億円があげられており、「放課後児童クラブが、放課後児童支援員等の事務負担の軽減のためにパソコン等を購入する際にその費用について支援する」とあります。

→ くわしくは、こちらへアクセスを

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/15hosei/>

お知らせ



他団体からの研修会のご案内

■全国障害者問題研究会鹿児島支部 発達保障講座  
発達障害のある子どもの理解と発達援助

◇と き: 2016年1月30日(土)・31日(日)

◇と ころ: 鹿児島県文化センター(宝山ホール)

30日: 第6会議室 31日: 第3会議室

◇講 師: 楠 凡之(くすのき ひろゆき)さん

北九州市立大学文学部人間関係学科教授

■NPO法人えじそんくらぶ・あうとリーチ教育講演会  
『特性がある子どもたちへのエール』

～明日につながる理解と支援のために～

◇講 師: 高橋 順治さん(奈良県生駒市立生駒小学校教諭)

◎日 時: 2016(平成28)年1月23日(土)

第一部 第一研修室 14:00～16:00(13:30 時開場)

第二部 会議室 18:00～20:00(17:30 時開場)

◎場 所: サン・あもり(隼人町見次1371 電話: 0995-43-3373)

チラシを同封し  
ました。ご活用  
下さい。